岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
博士前期課程

学生募集要項

２０１９年４月入学（第２回）

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

http://www.pharm.okayama-u.ac.jp

〈〈 アドミッション・ポリシー 〉〉

大学院医歯薬学総合研究科（薬学系）では，その設置の趣旨・目的に基づき次のような学生を求めています。

1) 最先端の研究動向を把握し，地域から国際社会まで幅広く普遍的に貢献する研究を志す人
2) 医・歯・薬学の専門的知識を統合した学際的研究を志す人
3) 世界をリードする先端的・独創的研究を推進し，研究成果を発信する人
4) 高度で幅広い知識を習得し，科学の進歩に適応しうる問題解決能力を涵養する人

目　　次

Ⅰ　募集人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１ページ

Ⅱ　入試日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１ページ

Ⅲ　一般入試 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２ページ

Ⅳ　外国人留学生特別入試 ・・・・・・・・・・・・・・・　７ページ

Ⅴ　薬科学専攻（博士前期課程）案内・・・・・・・・・　12 ページ

入学試験に関する照会先

〒７００－８５３０　岡山市北区津島中１－１－１
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当

TEL（０８６）２５１－７９２３

募集要項等の郵送を希望する場合は，「医歯薬学総合研究科（博士前期課程）募集要項請求」とし，返信用封筒（角形２号の封筒に郵便切手２５０円分を貼付したもの）を同封して，上記あてに請求してください。

Ⅰ　募集人員

専　　攻	２０１９年４月入学募集人員
薬科学専攻	若　干　人

※　募集人員には，外国人留学生特別入試での若干人を含みます。

Ⅱ　入試日程

試　　験	２０１９年４月入学（第２回）
出 願 期 間	２０１８年１２月１８日（火） ～ ２０１８年１２月２５日（火）
試　験　日	２０１９年　１月　９日（水）
合格者発表	２０１９年　２月　８日（金）

Ⅲ　一般入試

１　出願資格

次のいずれかに該当する者又は２０１９年３月までに該当する者

(1)　大学を卒業した者
(2)　学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者
(3)　外国において学校教育における１６年の課程を修了した者
(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者
(5)　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
(6)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
(7)　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(8)　文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
(9)　学校教育法第１０２条第２項の規定により他の研究科に入学した者で，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めるもの
(10)　大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達したもの
(11) 大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で，大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

注１　１の出願資格(2)に該当する見込みの者とは，学位規則第６条第１項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（旧称：大学評価・学位授与機構）が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で，当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者が該当します。
注２　１の出願資格(9)～(11)に該当する入学志願者は，出願の前に個別の入学資格審査を行います。
注３　１の出願資格(10)に定める「大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは，出願資格の審査として，書類審査の後に学力検査（筆記試験，口頭試問）及び面接を行い，出願資格を認めた者が該当します。ただし，提出書類等により，個人の能力の確認ができる場合は，筆記試験は省略することがあります。
注４　出願資格(11)の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは，次の各号のいずれかに該当する者です。
①　外国において学校教育における１５年の課程を修了した者
②　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１５年の課程を修了した者
③　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

２　出願資格における個別の入学資格審査

前記１の出願資格（9）～（11）における入学志願者は，出願の前に，入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので，次により申請書類を請求し，期限までに提出してください。

申請書類請求方法	「大学院医歯薬学総合研究科入学資格審査申請書類請求」と朱書きした封筒に，返信用封筒を同封し，請求先あてに郵送してください。 ［返信用封筒］ 長形３号封筒（23.5㎝×12㎝）に入学志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し，３７２円分の切手を貼り付けてください。
請　求　先	〒７００－８５３０　岡山市北区津島中１－１－１ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL（０８６）２５１－７９２３
申請書類提出 締め切り期限	２０１８年１２月７日（金）

３　障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は，受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので，出願に先立ち，次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し，少しでも早く相談してください。

相　談　方　法	「出願に伴う事前相談書」を請求して，医師の診断書，障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。
請　求　先 相　談　先	〒７００－８５３０　岡山市北区津島中１－１－１ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL（０８６）２５１－７９２３
相談締め切り期限	２０１８年１２月７日（金）

４　出願手続

(1)　出願方法

入学志願者は，(5)の「出願に必要な書類等」を，出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2)　出願期間

２０１８年１２月１８日（火）から２０１８年１２月２５日（火）１７時（必着）

（注）　持参する場合の受付時間は，９時から１７時までです。（土日・祝日を除きます。また，１２時から１３時までを除きます。）

(3)　提出先

〒７００－８５３０　岡山市北区津島中１－１－１
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
TEL（０８６）２５１－７９２３

(4) 出願上の注意

① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。

② 出願書類受理後は，いかなる理由があっても返却しません。

③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。

④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は，入学後においても入学が取り消されることがあります。

⑤ 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について,志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが，その場合は，改姓（名）の日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式任意）を添付してください。

⑥ 志願票等の記入方法について１２ページの「Ⅴ 薬科学専攻（博士前期課程）案内」により，講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに,志望する教育研究分野（第２志望以下を含む。）の担当教員に事前に相談してください。

(5) 出願に必要な書類等

志願票，受験票及び写真票	所定の用紙により提出してください。 電話番号，E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し，E-mailは岡山大学からのメール（@adm.okayama-u.ac.jp）が受信できるように設定してください。 本学に在籍する志願者は，岡山大学Gmailのアドレスを記入してください。
写真	縦5.0cm×横4.0cm，上半身，無帽，正面向きで出願前３か月以内に撮影したもの２枚を志願票及び写真票の所定欄に貼り付けてください。
学業成績証明書及び卒業（見込）証明書	出身大学の学長又は学部長が作成し，厳封したもの なお，本学薬学部の卒業者及び卒業見込みの者は，提出不要です。
入学検定料	３０，０００円（振込手数料が別に必要です。） 入学検定料は，添付の「入学検定料振込用紙」により，金融機関（ゆうちょ銀行又は郵便局を含みます。）の窓口から振込（ATMは利用できません。）によって納入し，必ず，「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄に貼り付けてください。 【入学検定料の免除について】 本学では，２０１８年４月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し，進学機会の確保を図るために，入学検定料免除の措置を講じます。 ※ 詳細については，本学のホームページ（http://www.okayama-u.ac.jp）から「入試」→「入学検定料の免除」をご確認ください。
履歴書	最終の学校（大学等）を外国で卒業した入学志願者のみ所定の用紙により提出してください。
学士の学位授与（申請）証明書	「１ 出願資格(2)」で出願する者のみ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（旧称：大学評価・学位授与機構）が作成した学位授与（申請受理）証明書又は在籍する短期大学長・高等専門学校長が作成した短期大学専攻科・高等専門学校専攻科の修了見込証明書及び学士の学位授与を証明する予定である旨の証明書（様式任意）を提出してください。
英語能力試験のスコアカード・自己アピール	試験日の４年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験のスコアカードの原本を提出してください。スコアカードは後日返却します。 ・TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度（IPテスト） ・TOEFL-PBT ・TOEFL-iBT ・IELTS（overall score）
受験票等送付用封筒	受験票は，交付の準備ができ次第連絡しますので，薬学系教務学生担当事務室まで取りに来てください。郵送を希望される方は，この募集要項に添付されている封筒に，受験票の送付先（入学志願者本人の郵便番号，住所，氏名）を明記し，３６２円分の切手を貼って提出してください。
連絡受信先シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。
他研究科での在学期間証明書	「１ 出願資格(9)」で出願する場合のみ

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は，入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし，入学者については，志願票に記載された氏名，性別，生年月日，現住所，出身学校等の個人情報を，本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また，合格者の受験番号，氏名（漢字・カナ）の個人情報については，本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお，入学料免除の申請，入学料徴収猶予の申請，授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は，申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を，入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

５　受験票の交付

(1) 受験票は，２０１８年１２月２７日（木）頃に本人あて発送します。

なお，２０１９年1月４日（金）までに到着しない場合には，次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
TEL（０８６）２５１－７９２３

(2) 受験票は，試験当日及び入学手続の際に必要となりますので，大切に保管しておいてください。

６　入学者選抜方法等

入学者の選抜は，筆記試験（専門科目），外部英語試験(英語能力試験)，面接試験及び出願書類等を総合して行います。

(1) 試験日程及び試験教科・内容

試　験　日	試　験　内　容		試　験　時　間
２０１９年 １月９日（水）	専門科目	●物理 物理化学［熱力学，相平衡・化学平衡，溶液論，電気化学，反応速度論，量子化学（原子・分子構造），分子間相互作用，表面科学，分光学（X 線結晶学を含む）］，分析科学［酸塩基，酸化還元，沈殿滴定，キレート滴定などの定量分析とそれらの化学平衡・反応速度，放射壊変と平衡，同位体分析，各種機器分析法］ ●化学 有機化合物の命名，構造と構造化学（機器データによる構造決定を含む），立体化学，反応と反応機構，天然物・医薬品の合成 ●生物 生化学（タンパク質，脂質，核酸，糖質，エネルギー代謝），分子・細胞生物学（細胞の構造，遺伝子の複製・修復・組換え，遺伝子発現の調節，細胞周期と細胞死） ●薬理 薬理学総論，生体内情報伝達システム，イオンチャネルとトランスポーター，生理活性物質，末梢神経薬理，中枢神経薬理，循環器薬理，代謝性疾患治療薬（教科書は南江堂　NEW 薬理学を使用） ●薬剤 生物薬剤学，薬物動態学（ファーマコキネティックスを含む） ※５科目から１科目を選択（第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択　P12，P13 参照）	１３：００ ～１４：３０
	面　　接		１５：００～

(2) 試験配点

受 験 者	配 点		
	専門科目 (1 教科 100 点)	外部英語試験 (英語能力試験)	面 接
本学薬学部 出 身 者	200 点 (200 点に換算します。)	100 点 (英語能力試験のスコアを 100 点に換算します。)	合・否
本学薬学部 出身者以外			

(3) 試験場

岡山大学薬学部１号館 【岡山市北区津島中１－１－１】

① ＪＲ岡山駅運動公園口（西口）から「４７」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
② ＪＲ岡山駅後楽園口（東口）から「１７」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
③ ＪＲ津山線「法界院駅」下車，徒歩約１０分

7 合格者発表

(1) 合格者の発表は，次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
２０１９年2月８日（金）１０時（予定）	薬学部１号館前 掲示板

① 合格者には，医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当の窓口で，合格通知書等を交付します。
（本学に在籍していない合格者には，合格通知書等を郵送します。）
② 掲示による合格者発表後，ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
（http://www.pharm.okayama-u.ac.jp）
③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続方法
詳細は，「入学案内」により通知します。
(2) 入学手続期間

２０１９年3月１３日（水）及び１４日（木）

9 その他

(1) 入試に関する緊急のお知らせは，以下のホームページに掲載するとともに，志願票に記載されたメールアドレス宛に連絡します。
（http://www.pharm.okayama-u.ac.jp）
(2) 学費
入学料 ２８２,０００円 ［予定額］
授業料（前半期分） ２６７,９００円 （年額 ５３５,８００円）［予定額］
※ なお，入学時及び在学中に改定が行われた場合には，改定時から新たな金額が適用されます。
(3) 修学援助
修学援助の一環として，入学料免除・徴収猶予，授業料免除及び奨学金等の制度があります。

Ⅳ　外国人留学生特別入試

１　出願資格

(1)　日本国籍を有しない者　（ただし，日本国内の大学を卒業した者及び卒業見込の者を除く。）

(2)　「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に「留学」の在留資格に変更又は取得できる見込みの者

上記(1)及び(2)の要件を満たし，次のいずれかに該当する者又は２０１９年３月までに該当する見込みの者

①　大学を卒業した者

②　外国において学校教育における１６年の課程を修了した者

③　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者

④　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

⑤　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

⑥　大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達したもの

⑦　大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で，大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

(注1) １の出願資格⑥～⑦に該当する入学志願者は，出願の前に個別の入学資格審査を行います。

(注2) １の出願資格⑥に定める「大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは，出願資格の審査として，書類審査の後に学力検査（筆記試験，口頭試問）及び面接行い出願資格を認めた者が該当します。

ただし，提出書類等により，個人の能力の確認ができる場合は，筆記試験は省略することがあります。

(注3) 出願資格⑦の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは，次の各号のいずれかに該当する者です。

①　外国において学校教育における１５年の課程を修了した者

②　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１５年の課程を修了した者

③　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

２　出願資格における個別の入学資格審査

前記１の出願資格⑥～⑦における入学志願者は，出願の前に，入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので，次により申請書類を請求し，期限までに提出してください。

申請書類請求方法	「大学院医歯薬学総合研究科入学資格審査申請書類請求」と朱書きした封筒に，返信用封筒を同封し，請求先あてに郵送してください。 ［返信用封筒］ 長形３号封筒（23.5cm×12cm）に入学志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し，３７２円分の切手を貼り付けてください。
請　求　先	〒７００－８５３０　岡山市北区津島中１－１－１ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL（０８６）２５１－７９２３
申請書類提出 締め切り期限	２０１８年１２月７日（金）

３　障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は，受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので，出願に先立ち，次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し，少しでも早く相談してください。

相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して，医師の診断書,障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。
請 求 先 相 談 先	〒７００－８５３０　岡山市北区津島中１－１－１ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL（０８６）２５１－７９２３
相談締め切り期限	２０１８年１２月７日（金）

４　出願手続

(1)　出願方法

入学志願者は，(5)の「出願に必要な書類等」を，出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2)　出願期間

２０１８年１２月１８日（火）から２０１８年１２月２５日（火）１７時（必着）

(注)　持参する場合の受付時間は，９時から１７時までです。（土日・祝日を除きます。また，１２時から１３時までを除きます。）

(3)　提出先

〒７００－８５３０　岡山市北区津島中１－１－１
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
TEL（０８６）２５１－７９２３

(4)　出願上の注意

①　出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。

②　出願書類受理後は，いかなる理由があっても返却しません。

③　出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。

④　出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は，入学後においても入学が取り消されることがあります。

⑤　改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について，志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが，その場合は，改姓（名）の日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式任意）を添付してください。

⑥　志願票等の記入方法について１２ページの「Ⅴ　薬科学専攻（博士前期課程）案内」により，講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに，志望する教育研究分野（第２志望以下を含む。）の担当教員に事前に相談してください。

(5)　出願に必要な書類等

志願票，受験票及び写真票	所定の用紙により提出してください。 電話番号，E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し，E-mailは岡山大学からのメール（@adm.okayama-u.ac.jp）が受信できるように設定してください。
写真	縦5.0cm×横4.0cm，上半身，無帽，正面向きで出願前３か月以内に撮影したもの２枚を志願票及び写真票の所定欄に貼り付けてください。
学業成績証明書及び卒業（見込）証明書	出身大学の学長又は学部長が作成し，厳封したもの なお，本学薬学部の卒業者及び卒業見込みの者は，提出不要です。
入学検定料	３０，０００円（振込手数料が別に必要です。） 入学検定料は，添付の「入学検定料振込用紙」により，金融機関（ゆうちょ銀行又は郵便局を含みます。）の窓口から振込（ATMは利用できません。）によって納入し，必ず，「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄に貼り付けてください。 【入学検定料の免除について】 本学では，２０１８年４月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し，進学機会の確保を図るために，入学検定料免除の措置を講じます。 ※ 詳細については，本学のホームページ（http://www.okayama-u.ac.jp）から「入試」→「入学検定料の免除」をご確認ください。
履歴書	最終の学校（大学等）を外国で卒業した入学志願者のみ 所定の用紙により提出してください。
住民票	日本在住の外国人のみ 市区町村長が発行したもの(在留資格・在留期間が記載されたもの)
英語能力試験のスコアカード・自己アピール	試験日の４年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験のスコアカードの原本を提出してください。スコアカードは後日返却します。 ・TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度（IPテスト） ・TOEFL-PBT ・TOEFL-iBT ・IELTS（overall score）
受験票等送付用封筒	受験票は，交付の準備ができ次第連絡しますので，薬学系教務学生担当事務室まで取りに来てください。郵送を希望される方は，この募集要項に添付されている封筒に，受験票の送付先（入学志願者本人の郵便番号，住所，氏名）を明記し，３６２円分の切手を貼って提出してください。
連絡受信先シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は，入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし，入学者については，志願票に記載された氏名，性別，生年月日，現住所，出身学校等の個人情報を，本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また，合格者の受験番号，氏名（漢字・カナ）の個人情報については，本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお，入学料免除の申請，入学料徴収猶予の申請，授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は，申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を，入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

５　受験票の交付

(1) 受験票は，２０１８年１２月２７日（木）頃に本人あて発送します。

なお，２０１９年1月４日（金）までに到着しない場合には，次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
TEL（０８６）２５１－７９２３

(2) 受験票は，試験当日及び入学手続の際に必要となりますので，大切に保管しておいてください。

６　入学者選抜方法等

入学者の選抜は，筆記試験（専門科目），外部英語試験(英語能力試験)，面接試験，及び出願書類等を総合して行います。

(1) 試験日程及び試験教科・内容

試　験　日	試　験　内　容		試　験　時　間
２０１９年 1月９日（水）	専門科目	●物理 物理化学［熱力学，相平衡・化学平衡，溶液論，電気化学，反応速度論，量子化学（原子・分子構造），分子間相互作用，表面科学，分光学（X線結晶学を含む）］，分析科学［酸塩基，酸化還元，沈殿滴定，キレート滴定などの定量分析とそれらの化学平衡・反応速度，放射壊変と平衡，同位体分析，各種機器分析法］ ●化学 有機化合物の命名，構造と構造化学（機器データによる構造決定を含む），立体化学，反応と反応機構，天然物・医薬品の合成 ●生物 生化学（タンパク質，脂質，核酸，糖質，エネルギー代謝），分子・細胞生物学（細胞の構造，遺伝子の複製・修復・組換え，遺伝子発現の調節，細胞周期と細胞死） ●薬理 薬理学総論，生体内情報伝達システム，イオンチャネルとトランスポーター，生理活性物質，末梢神経薬理，中枢神経薬理，循環器薬理，代謝性疾患治療薬（教科書は南江堂　NEW薬理学を使用） ●薬剤 生物薬剤学，薬物動態学（ファーマコキネティックスを含む） ※５科目から１科目を選択（第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択　P12，P13参照） ※筆記試験（専門科目）は日本語又は英語の問題文から選択できます。	１３：００ ～１４：３０
	面　　接		１５：００～

(2) 試験配点

受 験 者	配 点		
	専門科目 (1 教科 100 点)	外部英語試験 (英語能力試験)	面 接
外国人留学生	200 点 (200 点に換算します。)	100 点 (英語能力試験のスコアを 100 点に換算します。)	合・否

(3) 試験場

岡山大学薬学部１号館 【岡山市北区津島中１－１－１】

① ＪＲ岡山駅運動公園口（西口）から「４７」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
② ＪＲ岡山駅後楽園口（東口）から「１７」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
③ ＪＲ津山線「法界院駅」下車，徒歩約１０分

7 合格者発表

(1) 合格者の発表は，次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
２０１９年2月８日（金）１０時（予定）	薬学部１号館前 掲示板

① 合格者には，医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当の窓口で，合格通知書等を交付します。
(本学に在籍していない合格者には,合格通知書等を郵送します。)
② 掲示による合格者発表後，ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(http://www.pharm.okayama-u.ac.jp)
③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続方法
詳細は，「入学案内」により通知します。
(2) 入学手続期間

２０１９年3月１３日（水）及び１４日（木）

9 その他

(1) 入試に関する緊急のお知らせは，以下のホームページに掲載するとともに，志願票に記載されたメールアドレス宛に連絡します。
(http://www.pharm.okayama-u.ac.jp)
(2) 学費
入学料 ２８２,０００円 [予定額]
授業料（前半期分） ２６７,９００円 （年額 ５３５,８００円） [予定額]
※ なお，入学時及び在学中に改定が行われた場合には，改定時から新たな金額が適用されます。
(3) 修学援助
修学援助の一環として，入学料免除・徴収猶予，授業料免除及び奨学金等の制度があります。

Ⅴ　薬科学専攻（博士前期課程）案内

講座	部門	する科目分野が指定教育研究	教育研究分野 名称	教育研究分野 内容	担当教員
薬品合成解析学	薬品合成学	化学	創薬有機化学	有機合成化学の新手法・戦略の開拓と生物活性天然物の全合成に基づく医薬開発（天然物創薬）に関する教育・研究を行う。	好光　健彦　教授
		化学	合成医薬品開発学	創薬を指向した分子設計と医薬品合成のためのプロセス化学および精密合成化学反応の開発とその医薬分子創製への応用，および構造活性相関に関する教育・研究を行う。	竹内　靖雄　教授
		化学	天然医薬品開発学	医薬品開発の基礎となり，また漢方医学における生薬利用の有用性の基礎となる天然有機化合物について，その化学を中心とした教育・研究を行う。	（谷口　抄子　准教授）
		物理	構造生物薬学	受容体・チャネル・情報伝達分子や医学・薬学・歯学標的タンパク質を初めとした種々の生体高分子について，立体構造解析および構造情報に基づいた機能解析を行う構造生物学研究を行い，生命機能の理解および創薬を目指す教育・研究を行う。	山下　敦子　教授
		化学	精密有機合成化学	汎用性のある多段階ワンポット反応の開発と，late stage functionalizationによる効率的合成法の確立，及びそれらを基軸とした生物活性物質の全合成に向けた教育，研究を行う。また，優れた発光性や色彩を持つπ電子系分子を創出し，その物性解明研究を行う。	澤田　大介　教授
	物質情報解析学	物理	生体物理化学	光や電気などの物理的刺激を利用し，分子から脳まで，高速反応から分子進化までの幅広い時空間軸での解析と解析法の開拓を行い，生命機能を物理化学の言葉で理解することで，創薬を支えるための教育・研究を行う。	須藤　雄気　教授
		物理	生体機能分析学	物理的診断法（画像診断）のための各種分子プローブ開発と、生体分子イメージング技術に基づく生理機能の解析や疾患の病態解明など、生体機能の非侵襲的分析に関する教育・研究を行う。	上田　真史　教授
生命反応解析学	分子生命解析学	生物	生体膜生化学	生体膜の構造と機能,膜のダイナミクスと生命活動，膜ATPase・トランスポーター・チャネル・レセプターが関与する疾病などについての教育・研究を行う。	（表　弘志　准教授）
		生物	生体応答制御学	樹状細胞やマスト細胞などの免疫細胞を対象として，生化学・細胞生物学的な解析を行い，免疫機能の調節機構についての教育・研究を行う。	（古田　和幸　准教授）
		生物	膜輸送分子生物学	膜輸送体（トランスポーター）の生理的・病態的役割を分子レベルから個体レベルまで明らかにし、その分子メカニズムに基づく新たな創薬基盤を構築する。トランスポーター創薬に資する教育・研究を行う。	※ （宮地　孝明　准教授）
	病態代謝解析学	生物	毒性学	化学構造と生体反応を解析するケモインフォマティックスやバイオインフォマティックとin vitro遺伝子転写発現機構解析に基づく毒性発現機構の解析やそれらを応用した新たな毒性評価ストラテジーについて教育・研究を行う。	小野　敦　教授
		生物	臨床病態診断学	肥満症，脂肪肝，ウイルス性肝疾患，生活習慣病などの疫学や病態を分析し，より有効な診断法・治療法について研究する。また，精神・神経疾患の病態を解析し，より効果的な診断法・薬物治療について教育・研究する。	※ 大西　勝　教授 岩﨑　良章　教授

※は他部局所属の協力教員を示す。

講座	部門	する科目分野が指定教育研究	教育研究分野 名称	教育研究分野 内容	担当教員
薬効解析応用学	薬効評価解析学	生物	健康機能解析学	健康寿命延伸に向ける予防・治療（薬，素材，方法）の開発を目的とし，過（偏倚)栄養がメタボリック症候群やサルコペニア肥満に帰結するメカニズムを，栄養エネルギー代謝決壊，レドックスバランス不均衡−慢性炎症連関，組織リモデリングや遺伝子発現レベルの後生的修飾など病態進展機序の解明・解析に関する教育研究を行う。	（高山　房子　　准教授）
		薬理	薬効解析学	一酸化窒素などによる酸化ストレスの実体を分子レベルで解析し，パーキンソン病やアルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患発症機構の解明を目指す。このような状態に連関したタンパク質品質機構の詳細なメカニズムについて解析する。発症機序を基にした新規早期診断法や治療薬（中枢神経系，免疫アレルギー系，循環器系）開発についての教育・研究を行う。	上原　孝　　教授
		薬理	炎症薬物学	炎症反応およびアレルギー反応の病態を様々な手法で解析し，新規な作用機序を有する予防薬および治療薬の開発に貢献できる新しい疾患モデルの作製と薬物評価方法などについて研究・教育を行う。	（杉本　幸雄　　准教授）
		薬理	腫瘍薬物療法学	がん化学療法，移植に関連する薬物療法における標準的治療法，ならびに有害事象の評価を行うための教育を行う。がん遺伝子あるいは薬物代謝関連遺伝子型を評価することにより，個別化薬物療法を目的とする教育・研究を行う。	（須野　　学　准教授）
		薬剤	臨床薬物動態学	薬物療法の個別化至適化手法の構築を目的に，薬物の体内動態と薬効に影響を与える変動因子の同定と変動メカニズムの解明を目指した教育・研究を行う。また，臨床データの遡及的並びにコホート的解析により，薬物療法の最適化を支援する科学的根拠の発見と蓄積を目的とする教育・研究を併せて実施する。	（合葉　哲也　准教授）
		薬理	救急薬学	急性期疾患における薬物療法への介入および災害時における保健医療体制の意義を理解することを目的としたシミュレーション教育を充実させ，実践と社会のニーズから薬学的問題点を解明する教育・研究を行う。	名倉　弘哲　教授
		薬理	臨床薬剤学	患者の安心・安全な薬物治療の実施を目的に，医療現場での様々な問題点について，基礎薬学的および臨床薬学的アプローチによる解明を目的に研究を行う。特に，精神神経疾患の病態解明，医療材料の適正化研究を推進している。	※ （北村　佳久　准教授）
	薬物療法応用学	薬剤	製剤設計評価学	局所薬物濃度推移モニタ法・局所薬物動態評価法の開発と局所薬物動態の製剤的制御、および新しい製剤特性・製剤機能を付与した医薬品製剤の開発について教育・研究を行う。	黒﨑　勇二　教授
		薬剤	薬物動態制御学	薬物の体内動態を解析し，それらを医薬品として使用する際に，薬効を最大限に発揮させ，かつ毒性を最小限に抑える投与方法と投与形態について教育・研究を行う。	檜垣　和孝　教授
環境因子応用解析学	環境解析学	薬理	疾患薬理制御科学	薬物同様，人が積極的に摂取する様々な物質も生体に影響し，多くの疾患の発症に係わっていると考えられている。それら因子を制御し，主に高齢者に多い非感染性疾患の先制医療・再発予防等に資する教育・研究を行う。	有吉　範高　教授
		生物	衛生微生物化学	環境汚染物質や環境病原微生物など健康に影響を及ぼすリスク要因の分析，生体への作用機構，環境中での動態などについて教育・研究を行う。	三好　伸一　教授
	微生物応用学	生物	国際感染症制御学	新興・再興感染症のうち，寄生虫及びウイルス性疾患に焦点を当て，安定した培養系・評価系を構築し，新規治療剤のシーズ選抜と薬剤標的の解明研究を通して関連疾病の分子基盤を構築から医薬品開発に至る広範囲の教育・研究を行う。	（金　　惠淑　准教授）
		生物	分子毒性薬科学	遺伝子傷害・突然変異誘発機構の解明を通して，発がん機構と発がん予防機構，発がん予防物質に関する教育・研究を行う。	（有元　佐賀恵　准教授）

※は他部局所属の協力教員を示す。